

凡例

○ 災害対策本部	● 要配慮者利用施設
倉 防災倉庫	◇ アンダーパス
倉 地区防災倉庫	◇ 地下施設
消防署・消防団詰所	□ 水門
警察署・交番	Ⓟ 水路ポンプ施設
一時避難場所	📷 河川監視カメラ
避難所・避難場所	📏 水位観測所
避難場所	


早期の水平避難が必要なエリア

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 河川が氾濫した場合の浸水区域
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 急傾斜地の崩壊(げけ崩れ)
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 土石流
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域

ペット同行避難について

災害時の備えとして、日頃よりマナーのあるペットの飼育を心がけよう。被災時には一時的に飼えなくなることも想定し、親戚やペットホテルなど、ペット仲間への預け先も確保しよう。

- **大原則は同行避難**
 - ◆ 必ずペットと一緒に避難する。
 - ◆ 事前に避難所とペットの同行が可能か確認する。
- **避難所における飼育について**
 - ◆ 避難所では、動物の好きな人、嫌いな人、アレルギーを持った人など、様々な人が集まります。
 - ◆ 必ずしも、同じ部屋や場所に避難できるとは限りません。飼い主以外の人も上手にコミュニケーションをとり、ペットが受け入れやすい環境を作ろう。
- **普段からの心構え**
 - ◆ ペットの習性や性格にあった飼い方を心がけ、健康を保とう。また、狂犬病注射(犬)、ワクチン、ノミなどの寄生虫の駆除を行おう。
 - ◆ ペットと離れ離れにならないように、身元表示をしよう。基本的なしつけを身に付け、避難所でも興奮しないようにコントロールしよう。



浸水深の想定と目安

5.0m以上	2階の天井以上まで浸水する程度
3.0m~5.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまで浸水する程度
1.0m~3.0m未満	1階の床上から1階の天井まで浸水する程度
0.5m~1.0m未満	1階の床上まで浸水する程度
0.1m~0.5m未満	1階の床下まで浸水する程度

早期の水平避難が必要

